

その他の環境対策事業 1億353万3千円

地球温暖化対策

再生可能エネルギーの導入補助やPR

住宅用太陽光発電システムや木質ペレットストーブの導入費用を補助したほか、次世代エネルギーパークで情報発信しました。

省エネ対策や光熱費削減に向けた取組

情報統合管理基盤を用いた効率的な施設運用を行ったほか、ESCO事業の実施により、省エネルギー化を進め、光熱費を削減しました。

環境配慮行動や温室効果ガス削減を促す事業を実施

環境配慮行動を促すアプリを運用したほか、緑のカーテン写真コンテスト等を実施しました。



照明LED化の推進

雄和ふるさと温泉の浴室照明灯、秋田市ポートタワーの非常用照明灯、防犯灯および道路照明灯のLED化を推進しました。



緑地の整備や森林の整備

公園緑地を再整備したほか、森林のCO2吸収効果を高める間伐費用等を補助しました。

生活環境の保全

微小粒子状物質 (PM2.5) の成分分析業務を委託したほか、水銀含有ごみを処理しました。



地域振興基金に積立て

1,529万8千円

手数料相当額が4億5,064万8千円に対して、事業費の決算額（「将来の施設整備への積立て」+「家庭ごみ減量等対策事業」+「その他の環境対策事業」）が4億3,535万円となり、その差額である1,529万8千円を後年度の環境対策事業で活用するため、地域振興基金に積み立てます。

平成29年度末 現在高	平成30年度		平成30年度末 現在高
	積立額	取崩額	
2億684万1千円	2,707万7千円	5,998万5千円	1億7,393万3千円

平成29年度決算後の積立額

地域振興基金を充当した事業

5,998万5千円

後年度の事業で活用するために地域振興基金に積み立てていた額の一部を、環境対策事業等に充当しました。

公用車の低公害車化

公用車として、電気自動車やプラグインハイブリット車等を導入する費用の一部に充当しました。

中小企業者等の省エネ促進

中小企業者等の省エネ設備導入にかかる対策費の一部を補助しました。

照明LED化の推進

秋田市民交流プラザや太平山リゾート公園の照明LED化を推進しました。

古紙回収の促進・支援（再掲）

事業の詳細についてお問い合わせは

秋田市 環境部 環境都市推進課 計画担当

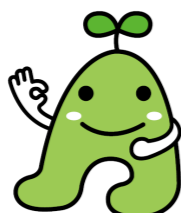
直通 018-888-5706

e-mail ro-evcp@city.akita.lg.jp

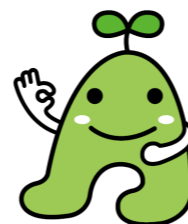
秋田市 手数料相当額

↑ 検索

令和元年12月作成



家庭ごみ処理手数料相当額の使いみちをお知らせします



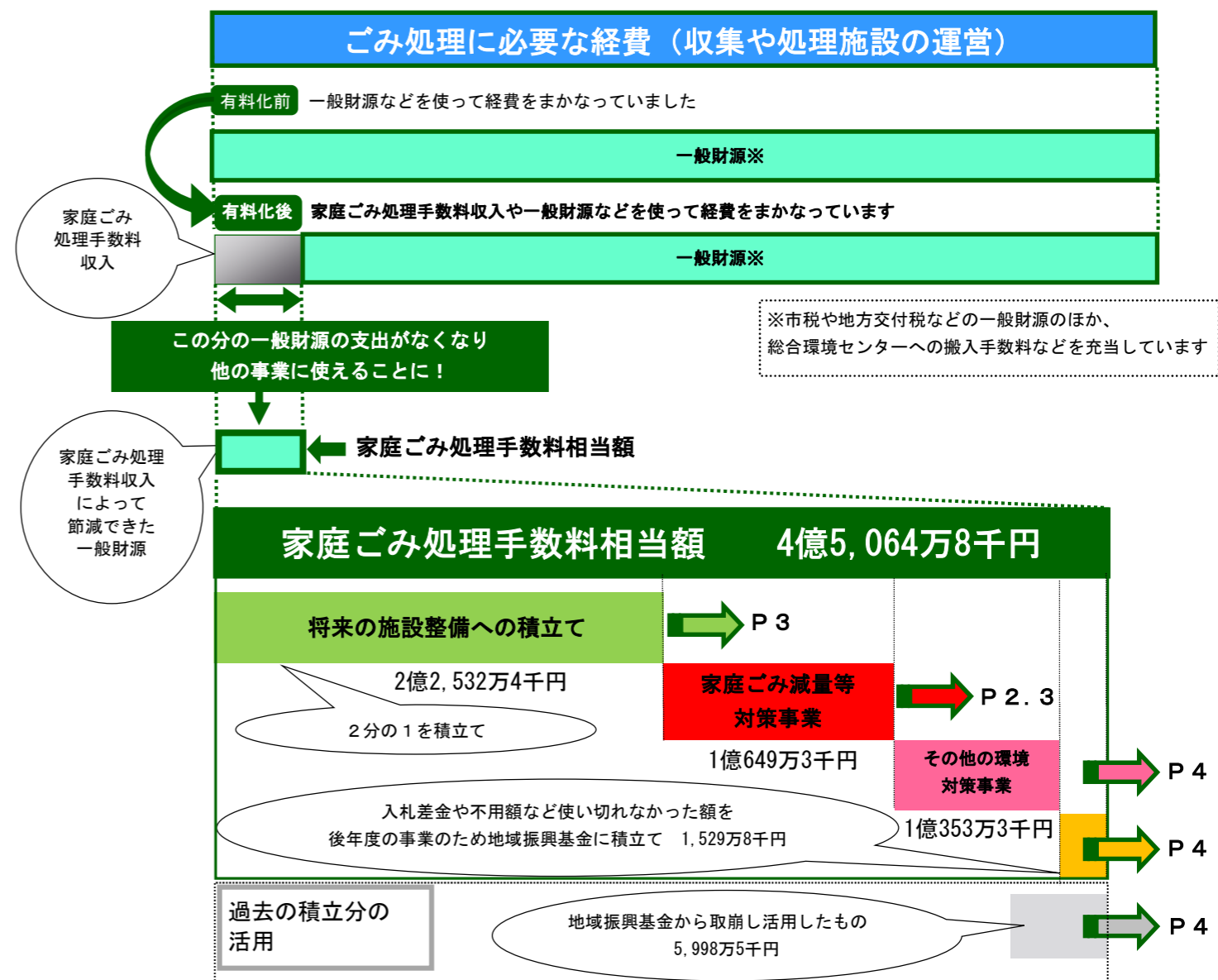
秋田市ごみ減量キャラクター エコアちゃん

秋田市では、経済的動機付けによるごみ減量を進めるため、市民の皆様にご家庭ごみ用指定袋の容量1ℓにつき、1円の家庭ごみ処理手数料を負担していただいております。有料化制度開始（平成24年7月）の前年（平成23年）度は、一人1日あたりの家庭系ごみの排出量は584gでしたが、平成30年度は、505gまで削減されました。

毎年度、負担していただいた財源（手数料）は、全額ごみ処理に必要な経費に充てていますが、その結果、節減することができた一般財源の相当額は、将来の施設整備の積立てや、さらなるごみの減量、その他環境対策に資する事業の財源に充てており、その決算額を毎年公表しています。

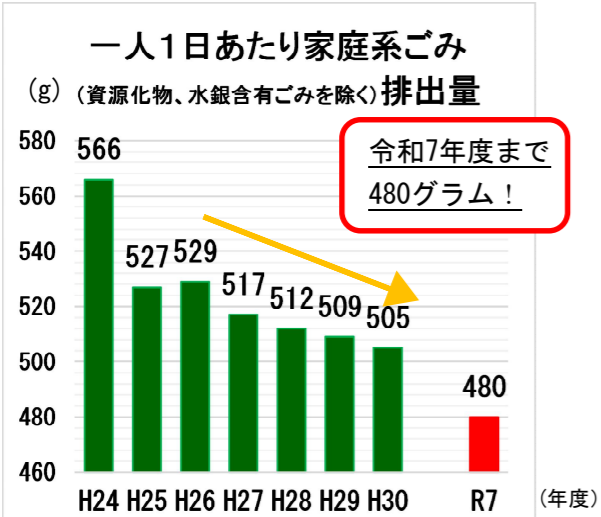
次の世代の負担を減らし、私たちの美しい環境を未来へ引き継ぐため、今後ともごみ減量にご協力をお願いいたします。

手数料相当額とは？



家庭ごみ減量等対策事業 1億649万3千円

減量目標



ごみ集積所の美化



各町内会等で管理しているごみ集積所について、町内会等の負担軽減のため、設置、修繕にかかる費用を補助しました。

※集積所の設置や修繕、簡易折りたたみ型や被せネットの購入等が補助の対象

補助件数132件

ごみ減量の情報発信

ごみ減量コラムの掲載

広報あきたに特集記事を掲載したほか、無料配布の情報誌にイラスト入りコラムを掲載しました。



「ごみの分け方・出し方手引き」を作成

分別方法の手引きを改訂し、市内全戸に配布することで、分別を周知しました。



150,000部製作 (A4版、28頁)

ごみ減量の啓発

家庭ごみ減量につなげるため、市民向けキャンペーンでPRしたほか、レジ袋削減に向けマイバッグづくり講座を開催しました。

ごみ減量呼びかけるのぼり(下図は卓上サイズ)や懸垂幕(2頁中段)を製作しました。

また、事業系ごみ減量啓発のためチラシを製作しました。



「ごみ減量アクション」を開催

ごみ減量の取組3Rが体験できる講座や、アンケートやごみ減量グッズ抽選会などを実施する「ごみ減量アクション」を開催しました。



4回開催

生ごみ減量の促進

生ごみ堆肥化容器 (コンポスター) 購入費補助や生ごみ堆肥づくり講座の開催

生ごみの減量・リサイクルに取り組む意欲のある希望者に屋外型の堆肥化容器の購入費の2分の1を補助しました。

また、コンポスターを活用した生ごみ堆肥づくり講座を8回開催しました。

コンポスター補助実績 72基 (これまで2,230基)

「オールあきた水切り月間」



家庭ごみの半分を占める「生ごみ」の減量(水切り)を推進するため、8月を「オールあきた水切り月間」と定め、懸垂幕やのぼりの設置、水切りお試しセットの配布などPR活動を集中的に実施しました。



食品ロスの削減

●食べきりアイデアレシピ集や食品ロス削減啓発パンフレットの作成



●「もったいないアクション」の推進
食べ物を大切にせずおいしく食べきることを啓発しました。

●トークライブを開催

著名人を招き、食品ロス削減をテーマに開催しました。

集団回収の普及促進

ごみの減量や資源のリサイクルを図るとともに、市民が共に資源の回収に取り組むことを推進するため、集団回収を行った団体等に奨励金を交付しました。

回収実績 3,348トン (実施団体 587団体)

資源化物の祝日収集

資源化物の排出利便性を高めるため、祝日に収集日があたる場合についても収集を行いました。



古紙回収の促進・支援

家庭からでる古紙について、回収業者、受入業者および古紙問屋との間で締結した協定に基づき、ステーション回収を実施しました。

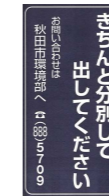
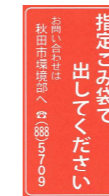
回収実績 6,653トン



不適正排出の抑止

不適正に排出されるごみを抑止するため、集積所の巡回パトロールおよび啓発活動を実施しました。

不適正排出件数 5,397件 (H25 23,077件)



不法投棄の防止

職員、委託業者および不法投棄監視員によるパトロール、監視カメラの活用ならびに不法投棄ゼロ宣言事業の実施などにより、不法投棄の防止に努めました。

発生件数 43件 (H24 116件)



家庭ごみ処理手数料の収納等

家庭ごみ有料化による手数料を収納し、小売登録事業者に徴収事務委託料を支払いました。また指定袋の規格検査を実施しました。



将来の施設整備への積立て 2億2,532万4千円



秋田市総合環境センター(溶融施設)
【平成14年3月竣工】
【平成24年3月増強工事】

家庭ごみ処理手数料相当額(4億5,064万8千円)の2分の1である(2億2,532万4千円)について、将来世代の負担を軽減するため、一般廃棄物処理施設整備基金に積み立てました。

平成30年度末 一般廃棄物処理施設整備基金

現在高 12億7,388万3千円

※秋田市の廃棄物処理施設である「秋田市総合環境センター」には、溶融施設(230t/日×2基)があるほか、再資源化施設である「リサイクルプラザ」、金属回収施設(32t/5h)である「第2リサイクルプラザ」および管理型最終処分場が整備されています。